# JHU O 日本プロテオーム学会通信

No. 152 2013.10.28

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。

■■■ 第 10 回 千葉疾患プロテオミクス研究会

■■■ 公開シンポジウムのご案内

会員の皆様に『第10回 千葉疾患プロテオミクス研究会』、『KAST講習会-糖鎖科学・糖鎖工学の基礎から応用のご案内』をお届けします。

ご高覧下さいますようお願い申し上げます。

本会は日本プロテオーム学会が後援しています。

\_\_\_\_\_

## 第10回 千葉疾患プロテオミクス研究会

■日 時: 平成25年11 月 9 日(土)13:00-18:40

■場 所: 日東紡八重洲ビル(東京都中央区)

■参加費:無料(シンポジウム後の交流会参加は実費3,000円)

■主 催: 千葉疾患プロテオミクス研究会

■共 催: ニットーボーメディカル株式会社

\_\_\_\_\_

#### KAST 講習会

■開講期間 : 平成26年1月21日(火)~1月22日(水) 計2日間 (先着順)

■募集人員: 20 名

■主 催: 公益財団法人神奈川科学技術アカデミー

■共 催: 東海大学

■場 所: かながわサイエンスパーク(KSP)内研修室 (川崎市高津区坂戸3-2-1)

■受 講 料: 一般 39,000 円, KAST 法人賛助会員,神奈川県内中小企業 31,200 円,

神奈:川県内企業、神奈川県内在住 35,100 円, 1日単位の受講 20,000 円

\_\_\_\_\_

【日本プロテオーム学会通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。ご意見を【日本プロテオーム学会通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】は、日本プロテオーム学会事務局 (cljhupo@secretariat.ne,jp)にお願いいたします。



## Clinical Proteomics in Chiba 2013 第10回 千葉疾患プロテオミクス研究会

日時: 2013年11月9日(土) 13:00-18:40

場所: **日東紡八重洲ビル** 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

【開会の辞】

千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学

千葉大学医学部附属病院 検査部・遺伝子診療部・疾患プロテオミクスセンター 教授

野村 文夫

【特別講演1】 13:05~13:55 司会 ニットーボーメディカル株式会社 研究開発部 研究開発部長

石原 英幹

『乳癌個別化治療を目指した分子診断法の開発』

大阪大学大学院医学系研究科 乳腺内分泌外科学 教授

野口眞三郎

【シンポジウム】 13:55~16:55 司会 千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学 助教 千葉大学医学部附属病院 疾患プロテオミクスセンター 助教

西村 基 佐藤 守

1 「NASH(非アルコール性脂肪性肝炎)肝の炎症巣で見られるケモカイン、リポカインの特徴的発現パターンと血液マーカーとしての可能性 ~FLSマウスでのCxCl1、Cxcl9、lipocalin-2の観察より~」

千葉大学医学部附属病院 検査部

仙波 利寿

プ「プロテオーム解析を用いた免疫性神経疾患の新規標的抗原の探索」

千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学

別府美奈子

≪休憩20分≫

3 「子宮内膜症性卵巣発癌の分子機構:分子病理学的検討からプロテオミクスへの期待」 北里大学 医学部病理学 助教 松本 俊英

4 「糖代謝に関わる脂質代謝酵素ジアシルグリセロールキナーゼδの基質選択性の同定」 千葉大学 生体機能化学研究室 堺 弘道

**「MALDI-TOF MSによる細菌同定検査のさらなる応用に向けて** 

~Nocardia 同定の試みと、髄液からの起炎菌直接同定の試み~」

千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学

瀬川 俊介

「LC-MS/MSによる血清ビタミンD定量分析の臨床応用への試み ~血清1,25(OH)』 ビタミンD測定を目指して~」 千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学 石毛 崇之

≪休憩20分≫

【特別講演2】 17:15~18:05 司会 干葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学

千葉大学医学部附属病院検査部・遺伝子診療部・疾患プロテオミクスセンター 教授 野村 文夫

『質量分析計を用いたバイオマーカー定量法の実用化への挑戦』

独立行政法人医薬基盤研究所 プロテオームリサーチプロジェクト プロジェクトリーダー 朝長 毅

司会 北里大学 名誉教授

前田 忠計

『千葉疾患プロテオミクス研究会 ―10年間のあゆみと今後の展望ー』

千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学 教授

野村 文夫

【閉会の辞】 18:35~18:40

【会長講演】

18:05~18:35

千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学 准教授

松下一之

CHIBA



【懇親会】会場:メルキュールホテル銀座東京 ビストロ レ シャンソン

19:00~ 会費:3,000円

主 催:千葉疾患プロテオミクス研究会 共 催:ニットーボーメディカル株式会社

代 表:千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学

千葉大学医学部附属病院

検査部・遺伝子診療部・疾患プロテオミクスセンター UNIVERSITY

野村 文夫 (fnomura@faculty.chiba-u.jp)

担 当:千葉大学医学部附属病院 疾患プロテオミクスセンター

佐藤 守 (msatoh1995@yahoo.co.jp)

### ~糖鎖を知る、見る、創る、使う~ 「糖鎖科学・糖鎖工学の基礎から応用」コース

**1.開講期間**: 平成26年1月21日(火)~1月22日(水) 計2日間 (先着順) **2.募集人員**: 20 名

**3.主 催**: 公益財団法人神奈川科学技術アカデミー **4.共 催**: 東海大学

5.開催場所; かながわサイエンスパーク(KSP)内研修室 (川崎市高津区坂戸3-2-1)

**6.受講料**:一般 39,000 円, KAST 法人賛助会員,神奈川県内中小企業 31,200 円,

神奈川県内企業,神奈川県内在住 35,100円, 1日単位の受講 20,000円

#### 7.講義内容・日程

#### ◆1日目(1月21日(火))

#### 9:30~10:50(80分) 精鎖科学・精鎖工学概論 - 精鎖科学・精鎖工学の歴史と現状

東海大学 糖鎖科学研究所 所長・教授/医学博士 鈴木 明身

11:00~12:20(80分) 精鎖合成制御機構への合成化学的挑戦 - 精鎖を探る

東海大学 糖鎖科学研究所 教授 蟹江 治

13:10~14:30(80分)疾患の解明と治療・創薬のための糖鎖科学(疾患と糖鎖)

福島県立医科大学 医学部生化学講座 教授/医学博士 橋本 康弘

14:40~16:00(80 分) ガングリオシドを標的とした生活習慣病やアレルギー疾患の発症機序の解明と治療

東北薬科大学 分子生体膜研究所 教授 井ノロ 仁一

16:10~17:30(80 分) 疾患特異的バイオマーカーとしての精鎖(精鎖をつかう)

産業技術総合研究所 糖鎖医工学研究センター センター長/医学博士 成松 久

#### 17:40~ 交流会

#### ◆2日目(1月22日(水))

9:30~10:50(80 分) 精鎖を創る - 単一構造の糖タンパク質を合成する技術

東海大学 工学部 応用化学科 教授/理学博士 稲津 敏行

11:00~12:20(80 分) 糖鎖による創薬の現状と将来展望

(独)理化学研究所 基幹研究所システム糖鎖生物学研究グループ糖鎖代謝学研究チームリーダー 鈴木 匡

13:10~14:30(80 分) 精鎖関連分子を見る - 蛍光顕微鏡を駆使した解析法

東海大学 糖鎖科学研究所 准教授/薬学博士 樺山 一哉

14:40~16:00(80 分) 精鎖医療工学(精鎖変化や精鎖機能を利用した診断、治療など)

産業技術総合研究所 糖鎖医工学研究センター 分子医用技術開発チーム チーム長/医学博士 池原 譲

16:10~17:30(80 分) 精鎖から探るアルツハイマー病の成立ちと治療薬開発

国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター 柳澤 勝彦